



居宅において日常生活を営むことが困難なことについてのやむを得ない事由

下記ア～エのうち、該当する項目にチェックのうえ、具体的な状況を記入してください。

- ア (認知症) 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られる。
- イ (知的障害・精神障害等) 〃
- ウ 家族等から深刻な虐待を受けていること等により、心身の安全・安心の確保が困難である。
- エ 単身世帯である、同居家族が高齢又は病弱である等により家族等による支援が期待できず、かつ、地域での介護サービスや生活支援の供給が不十分である。

具体的な状況

入  
所  
の  
緊  
急  
性

- 念のために申し込みをした。
- できるだけ現在の環境（自宅・グループホーム・老健・病院など）を維持したいので今すぐの入所は望んでいない。
- 在宅介護を続けることは困難なので今すぐにも入所したい。

**【入所申込説明と同意】**

1. 入所指針により、入所順位決定方法について説明を受けましたので、同意し、入所を申込みます。
2. 特別養護老人ホーム入所申込書について、富山県又は市町村から求められた場合や富山県又は市町村に報告する必要がある場合には、提出することに同意します。
3. 介護支援専門員等から入所希望者情報を収集（介護支援専門員等意見書）することに同意します。
4. 同一法人（福寿会）内の他特別養護老人ホームに情報提供することに同意します。

平成 年 月 日

申込者氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

**※記載の留意点**

「主たる介護者」：主に介護を行っている方について記入ください。

本人が施設、病院に入所（入院）中の方は退所（院）後、予定される主たる介護者を記入ください。

自宅に戻っても介護者がいない場合は氏名欄に「介護者なし」と記入ください。

「同居家族構成」：摘要欄に、就業、大学生、高校生、中学生、小学生、就学前等と記入ください。